

目標達成計画

作成日: 平成28年11月30日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害対策について。消防署の協力を得て、年2回の避難訓練を実施している。災害時の避難の際には、地域の皆様の協力が不可欠であるが、密接に地域と関わりを持っていない。	万が一の災害時に備えて、地域の皆様との連携をスムーズに行えるように、日頃より、コミュニケーションを図り、結びつきを強める。	地域の皆様と馴染みの関係を築く為に、事業所の行事等に招待し、コミュニケーションを図る。消防避難訓練を地元の消防団や近隣の皆様と合同で行う。	6ヶ月
2	38	日々のその人らしい暮らしについて。職員配置が一因ではあるが、日々の業務に追われ、画一的な介護となってしまっている。	利用者様からスタッフに声をかけやすい雰囲気を作る。利用者様と関わる時間を増やす為に記録時間の短縮等、作業の効率化を図る。	職員のペースや都合で介護せず、利用者様のペースに合わせた関わりを行う。記録研修を継続的に取組み記録時間の短縮化を図る。	6ヶ月
3	26	チームでつくる介護計画とモニタリングについて。各担当でモニタリングを行った上で、月1回ケースカンファレンスを行い、その場が出た意見を反映しているが、サービスの方向づけや実践に時間がかかってしまっている。(1G)	計画作成担当者を中心に、カンファレンス以外にも、職員に意見やアイデアを求め、チームで介護計画をつくっていく。	全職員が遠慮する事なく意見やアイデアを出し合い、カンファレンスや日頃の申し送り等で得た情報や意見を、素早く行動に移し、実践を行い、利用者様の生活の向上に繋げていく。	6ヶ月
4	1	理念の共有と実践について。チームケアを実践する上で、理念を共有、意識した介護が必要である。	理念を基本に、日々の介護にあたる。	理念の学習会や現状に則した理念であるかどうかも含めて話し合いを行う。	6ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。